

白鳳丸研究航海報告

東京大学大気海洋研究所

- * 航海番号 KH-19-1 次研究航海
- * 観測海域 (和文) 南大洋インド洋区
(英文) Indian sector of the Southern Ocean
- * 航海期間 平成31年1月2日(水)～平成31年2月12日(火)
- * 出港日時・場所 1月2日 14時フリーマントル港
- * 入港日時・場所 2月12日 10時フリーマントル港
- * 寄港期間・場所 1月13日～1月16日・ポートルイス港
- * 航海の研究題目 (和文) 南大洋インド洋区における海洋地球科学総合観測：
熱—水—物質の巨大リザーバとしての南大洋の循環と変動の解明
(英文) Integrated investigation for marine earth sciences
in the Indian sector of the Southern Ocean
- * 主席研究員(氏名・所属・職名・e-mailアドレス ◎は@)
池原 実・高知大学・教授・ikehara@kochi-u.ac.jp
- * 研究内容, 主調査者(e-mailアドレス), 観測項目
 1. 第4の底層水 CDBW (Cape Darnley Bottom Water) を起点とする熱塩循環・物質循環の解明
大島慶一郎 (ohshima@lowtem.hokudai.ac.jp)、係留系設置、CTD/CMS 採水観測、流向流速観測 (LADCP)
 2. 第四紀の南極周極流及び海洋フロントの南北変動の実態解明
池原実 (ikehara@kochi-u.ac.jp)、海底地形・地層探査、反射法地震探査、堆積物コア採取、表面海水採取、セジメントトラップ回収、浮氷採取
 3. コンラッドライズ及びデルカノライズの成因解明
佐藤暢 (satohiro@isc.senshu-u.ac.jp)、海底地形・地層探査・地球物理航走観測 (マルチビーム音響測深機 (MBES)、サブボトムプロファイラー (SBP)、プロトン磁力計、3成分磁力計、船上重力計、XCTD)、岩石ドレッジ
 4. 南極海における浮遊氷及び周辺表面海水中の人口アクチノイド元素の研究
篠永妙子 (tshinonaga@web.de)、浮氷の採取

5. 自動昇降型漂流ブイを用いた南大洋のモニタリング

平野瑞恵（非乗船）（hiranom@jamstec.go.jp）、アルゴフロート投入

* 乗船研究者氏名・所属・職名

池原実・高知大学海洋コア総合研究センター・教授

松井浩紀・高知大学海洋コア総合研究センター・特任助教

泉孟・高知大学大学院総合人間自然科学研究科・大学院生

大島慶一郎・北海道大学低温科学研究所・教授

中山佳洋・北海道大学低温科学研究所・助教

高塚徹・北海道大学低温科学研究所・技術専門職員

水田元太・北海道大学地球環境科学院・助教

篠永妙子・弘前大学被ばく医療総合研究所・客員研究員

渡辺叡・秋田大学大学院国際資源学研究科・大学院生

シェリフ多田野サム・東京大学大気海洋研究所・特任助教

石垣秀雄・東京大学大気海洋研究所・技術専門職員

亀尾桂・東京大学大気海洋研究所・技術専門職員

戸田亮二・東京大学大気海洋研究所・技術職員

竹内誠・東京大学大気海洋研究所・技術職員

芦田将成・東京大学大気海洋研究所・技術職員

中川美和・東京大学大気海洋研究所・技術職員

川合美千代・東京海洋大学学術研究院・准教授

大橋良彦・東京海洋大学学術研究院・研究員

熊川小綾花・東京海洋大学海洋科学技術研究科・大学院生

田村尚之・東京海洋大学海洋資源環境学部・学部生

佐藤暢・専修大学経営学部・教授

小椋千尋・東邦大学大学院理学研究科・大学院生

竹原景子・創価大学大学院工学系研究科・大学院生

垣下涼太・九州大学大学院理学府・大学院生

板木拓也・産業技術総合研究所・主任研究員

藤井昌和・国立極地研究所・助教

池上隆仁・海洋生物環境研究所・研究員

Amsler Helen Eri・University of Bern・大学院生

樋泉昌之・日本海洋事業（株）・観測技術員

片山陽平・（株）マリン・ワーク・ジャパン・観測技術員

* 航跡・測点図

